

# 令和 4 年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

|       |      |     |              |       |      |    |       |     |                    |       |        |     |       |    |      |    |
|-------|------|-----|--------------|-------|------|----|-------|-----|--------------------|-------|--------|-----|-------|----|------|----|
| 学校番号  | 36   | 学校名 | 茨城県立銚田第二高等学校 |       |      |    | 課程    | 全日制 |                    | 学校長名  | 海老澤 浩一 |     |       |    |      |    |
| 教頭名   | 大信 隆 |     |              | 宮地 富雄 |      |    |       |     | 事務長名               | 小林 武男 |        |     |       |    |      |    |
| 教職員数  | 教諭   | 51  | 養護教諭         | 1     | 常勤講師 | 10 | 非常勤講師 | 8   | 実習教諭、実習講師、実習助手、ALT | 8     | 事務職員   | 5   | 技術職員等 | 12 | 計    | 95 |
| 生徒数   | 小学科  |     | 1年           |       | 2年   |    | 3年    |     | 4年                 |       | 合計     |     | 合計    |    | クラス数 |    |
|       |      |     | 男            | 女     | 男    | 女  | 男     | 女   | 男                  | 女     | 男      | 女   |       |    |      |    |
|       | 総合学科 |     | 73           | 90    | 88   | 89 | 66    | 120 |                    |       | 227    | 299 | 15    |    |      |    |
|       | 農業科  |     | 15           | 6     | 9    | 2  | 11    | 2   |                    |       | 35     | 10  | 3     |    |      |    |
| 食品技術科 |      | 16  | 24           | 15    | 18   | 11 | 18    |     |                    | 42    | 60     | 3   |       |    |      |    |

## 2 目指す学校像

課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びと、将来を見据えた系統的なキャリア教育を充実させ、一人一人の進路希望の実現を図るとともに、地域社会との連携を推進し、地域振興に貢献するリーダーとなる人材を育成する、地域に信頼される学校。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

| 項目                                  | 現状分析   | 課題  |
|-------------------------------------|--|---|
| 「農業科」「食品技術科」「総合学科」の特色を生かした魅力ある学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> <li>大学進学から就職まで幅広い進路希望に対応した履修科目のモデルプランを示すとともに、各科、各系列の特色を生かした授業を行っている。</li> <li>生徒一人一人が自分の適性を理解して、将来、どのような職業に就きたいか主体的に考えていけるようキャリア教育の充実を図っている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「農業科」「食品技術科」「総合学科」の特色を生かした積極的な学習活動の展開</li> <li>学力差が広がっており、基礎学力向上を図るとともに、生徒個々の学力を把握して、ていねいに授業を進めていく必要がある。</li> <li>高校卒業後の進路を意識したキャリア教育を展開する。</li> </ul>   |
| 生徒一人一人の進路希望を実現する指導（進路指導）            | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望を 100% 実現できるよう 1 年から進路指導を行っている。</li> <li>学習のモチベーションが継続できるよう定期的に面談を実施している。</li> <li>「農業科」「食品技術科」「総合学科」の各科の学習内容や生徒が取得した資格等を生かした進路先につながるよう指導している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>個別面談や進路ガイダンスなどを計画的・効果的に実施する。</li> <li>就業体験（インターンシップ）や資格取得を推進する。</li> <li>進学希望者に向け、家庭学習の習慣化や課外学習の充実を図る。</li> <li>就職先の確保（卒業生がいる企業訪問や新規求人開拓）</li> </ul>   |
| 基本的生活習慣と規範意識の定着を図る指導（生徒指導）          | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年度から「遅刻ゼロ運動」を全校体制で実施し、遅刻に関する生徒指導部の特別指導の対象者は少数となっている。</li> <li>服装・頭髮の著しい乱れは見られなくなっている。</li> <li>令和 4 年度も「遅刻ゼロ運動」で、朝の立哨指導等を行い、学校全体で規則正しい生活習慣の定着と規範意識の向上を図る。</li> <li>生徒同士の適切な人間関係の構築、いじめの早期発見に努めている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣と規範意識を定着させる。</li> <li>朝の立哨指導や授業等で気になる生徒がいた場合、すぐに学年・担任と情報共有していく。</li> <li>自己肯定力を高め、思いやりをもって生活するよう指導する。</li> <li>SNS 等のトラブル防止と適切な使用方法を早期に指導する。</li> <li>自転車や原付バイクの安全運転を徹底する（交通事故ゼロ）。</li> </ul> |
| 校内における適切な働き方改革の推進                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務を見直して、教職員の時間外勤務の削減に努めている。</li> <li>部活動の複数顧問制による指導体制の分散化を図っている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>完全退勤時間を設定する。</li> <li>教職員の業務を恒常的に見直し、効率化を図る。</li> </ul>  |

別紙様式 1

4 中期的目標

- ・「総合学科」、「農業科」、「食品技術科」の特色を生かし、生徒一人一人の能力を引き出し、個性の伸長を図る教育を行う。
- ・生徒一人一人の基本的な生活習慣を確立し、自信のある行動をとれる人材を育成する。
- ・生徒一人一人の進路希望に応じた指導体制を確立し、生徒全員の進路実現を目指す。
- ・地域と連携して地域社会の信頼に立脚し、将来にわたり学校を充実・発展させる。
- ・教職員一人一人の業務の効率化を図り、時間外勤務の削減に努める。

5 本年度の重点目標

| 重点項目                                 | 重点目標   |
|--------------------------------------|--|
| 1 「農業科」「食品技術科」「総合学科」の特色を生かした学校づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 各科・系列の特色を生かした学習に取り組むとともに、積極的に情報発信をする。</li> <li>② 1人1台端末（タブレット等）を活用した学習を進める（主に1、2年）。</li> <li>③ 学力向上に向けて、授業改善に努めるとともに、家庭での学習習慣を確立する。（授業アンケート年2回、学びの基礎診断活用、教員の積極的な研修参加と情報交換等）</li> <li>④ 地域振興に貢献するリーダーとなる人材を育成するために、生徒が地域を理解し、地域に愛着がもてるよう活動内容を工夫する。</li> <li>⑤ 学校の教育活動を広報するために、年間10回の新聞掲載等を目指して、積極的にマスコミに取材依頼する。</li> </ul>                                 |
| 2 生徒一人一人の進路希望を実現するための生徒との「関わり」の深化    | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥ 卒業生の進路決定率100%を目指して、個別面談や進路ガイダンスなどを計画的・効果的に実施する。</li> <li>⑦ 就業体験や検定合格・資格取得を推進（卒業までに1人1つ以上の検定合格または資格取得）。</li> <li>⑧ 進学希望者に向け、進学先の理解を深めるよう指導するとともに、課外学習の充実を図る。</li> <li>⑨ 就職先の確保（卒業生のいる企業訪問や新規求人開拓のための企業訪問）。</li> </ul>  |
| 3 基本的な生活習慣と規範意識の定着、及び家庭・関係機関との連携の推進  | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑩ 自律心（自己指導能力や自己有用感）を育成し、基本的な生活習慣と規範意識を定着させる。</li> <li>⑪ 朝の立哨指導や授業等で気になる生徒がいた場合、すぐに学年・担任と情報共有する。</li> <li>⑫ 人間関係のトラブルやいじめの早期発見と早期対応をする（生徒が相談しやすい関係の構築）。</li> <li>⑬ SNS等のトラブル防止と適切な使用方法を早期に指導する（情報モラル教育の推進）。</li> <li>⑭ 交通事故ゼロを目指して、自転車や原付バイクの安全運転を徹底する。</li> <li>⑮ 家庭・関係機関との連携に努め、問題行動の未然防止及び拡大を防ぐとともに、学校への理解と信頼を深める。また、いじめに適切に対応できるよう実践的研修を実施する。</li> </ul> |
| 4 特別活動・部活動等とおした社会性の確立や人格の形成          | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑯ 生徒会活動や学校行事の実施方法を工夫して、生徒の人間関係の調整能力を高める。</li> <li>⑰ ボランティア活動や地域連携活動等への積極的な参加を促し、社会性の確立に努める。</li> <li>⑱ 「キャリア・パスポート」を活用し、主体的に学びに向かう力を育て、自己のキャリア形成を図る。</li> <li>⑲ 部活動等を活性化し、礼節や規則を大切にする態度を育む。</li> </ul>  |
| 5 安全・安心な教育環境の整備と自己健康管理能力の育成          | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑳ 定期的な「安全点検」や清掃活動の充実により、安全・安心な教育環境の整備に努める。</li> <li>㉑ 定期的な啓発活動等により、生徒及び教職員の緊急時の対応能力を高めるとともに、自己健康管理能力を高める。</li> </ul>  |
| 6 校内における適切な働き方改革の推進                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>㉒ 教職員一人一人の業務を見直し、効率化を図ることにより、負担軽減に努める。</li> <li>㉓ 1ヶ月あたりの時間外勤務45時間以内の実現を目指して、働き方改革の意識を高める。</li> </ul>   |